

期 間： 令和7年9月29日（月） 午後3時30分より

場 所： 真鶴町民センター 第2会議室

出 席 者： 瀬瀬 教育長、瀧本 委員（教育長職務代理者）、
松野 委員、岡田 委員、高橋 委員、
清水 教育課長、上甲学校建設担当課長、
塩田 学校建設専任課長兼指導主事、
飯島 学校教育専任課長兼指導主事、
青木 課長補佐兼教育総務係長、大竹 社会教育係長、
書記：板川 主事

欠 席 者： なし

傍 聴 者： 読売新聞記者、朝日新聞記者、神奈川新聞記者、毎日新聞記者

議事

1 教育長のあいさつ

2 協議事項

（1）学力調査等の公表について

3 報告事項

- 学校建設に関する報告について
- 令和7年度9月行事報告・10月行事予定
- 学校教育関係
- 社会教育・生涯学習関係

瀬瀬教育長： 今日傍聴者が4名入りますが、よろしいでしょうか。

全委員： はい。

瀬瀬教育長： では、入っていただきましょう。

それでは定刻になりました。ただいまの出席者数は5名です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に定める定足数に達しておりますので、これより令和7年度真鶴町教育委員会9月定例会を開会いたします。本日は4者の傍聴を許可しておりますので、よろしくお願いたします。

それでは皆さん改めまして、こんにちは。

全委員： こんにちは。

瀬瀬教育長： 大分涼しくなってきましたが、今日は風が強くて、まだ陽に当たるとまだまだ暑いなという感じがしておりますけど、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。学校の方も2学期が始まりました。これから秋の行事ということで、運動会や学習活動発表会の準備を進めていると学校から報告を受けております。

私から2点、今日お話をしたいと思っております。1点目は昨日行いました『教育を語り合う会2025』。今年度第2回目でしたが、岡田委員には出席をいただきましてありがとうございます。人数も子どもたちを含めて70名を超すぐらいいたかなと思っておりますが、かなり大人数で賑わいました。一昨年からはじめた事業なのですが、昨日は本当に子どもたちの参加者が多くて、お子様を連れて参加される方がたくさんいらっしゃって、いわゆる現役世代や自分のお子さんが新しい学校にまさに入学をするという、そういった保護者の方の意識が今まで以上に本当に高くなってきたなと昨日実感いたしました。また、来月に第3回目がございますので、委員の皆様ももし時間があればご出席をお願いできればなと思っております。

2点目は私事ではありますが、先日、松田町で夜間中学の勉強会がございまして、少し関心があったので参加してきました。最初、ドキュメンタリーの映画が流れて、そのあと意見交換という流れだったのですが、映画を見た限り、すごく夜間中学に行かれている方たちの学ぶ意欲はすごいなと感じました。今、夜間中学は政令市には一つずつできているのですが、県西地区にはない。「どうしてこちらでやったか。」と主催者の方はおっしゃっていました。近くで

いったら相模原市にありますが、結構県西からも入学して学んでいる方が多くて、こちらにもぜひ1校あればいいのではないかということで、こちらの地域で開催をしたようです。夜間中学に通われている方は、高齢者であったり外国籍の方であったり、あるいは不登校で中学校、高校で十分に学べなかった、そういった人たちなのです。本当に今の子どもたち、我々もそうでしたけど、学校に行けば先生がいて教科書があって学ぶ環境は整っていますが、本当に「勉強しようという意欲をどういうふう育てたらいいのか」は我々、学校現場あるいは教育関係者としてはすごく大きな課題なのだろうなと思って、意見交換あるいは映像を見ながら感じたところでございます。今日も協議事項等は、そんなに多くはないのですが忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは案件に入らせていただきます。協議事項は（1）の一つだけですね。学力調査等の公表についてということで、事務局から説明をお願いします。

飯島指導主事：

はい。私からよろしくお願いいいたします。「学力調査等の公表について」という資料1をご覧ください。一番上の結論にもありますが、令和7年度全国学力・学習状況調査結果の学校ごとの数値公表はしないと書かれております。また、本町は、町の公表＝学校の公表になってしまうので、町の公表もしないとしております。数値を公表しない理由としまして、真ん中の①から③に書いてあります。①学校が調査結果を学力の向上策（授業改善等）に反映することが目的なので、学校が詳細を把握し検証することを第一義とすること。②本町の学校教育の重点として、共に学び、共に育つ教育を重視していること。③数値公表は、子どもたちの人数が少ないことから個人の特定がしやすい状況。そのことから、学校に対する見方や町民の学校に対する理解が一面的になり、多様な価値観が損なわれる恐れがあること。子どもたちの自尊感情の低下による児童生徒指導上の課題が深刻化する恐れがあること。以上のことから、公表しないと考えております。また、学力調査検証委員会が来月に開かれます。そこでの検証と検証結果を反映した学校の授業改善に係る組織的な取り組みを促すこと。さらに、検証内容を保護者に伝え、町ホームページに掲載すること。これらを継続することにより、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取り組みを図ってまいりたいと思っております。学力調査等の公表について、ご承認いただければ

と思います。よろしくお願ひいたします。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。学力調査の検証についてはこれからですが、公表については控えたいという提案でよろしいですか。

飯島指導主事： はい。

瀬瀬教育長： はい。分かりました。それでは質疑に入りたいと思います。ただいまの説明についてご意見ご質問があればお願ひしたいと思ひます。いかがでしょうか。賛成なり反対なり、いかがですか。松野委員いかがでしょうか。

松野委員： この数値そのものは公表する必要はないと僕も思っております。ただ、その活用を上手く活用していただき、個々の制度なのですが、全体的な傾向であるなど、その辺を見ていただきながら優れている点やもう少し伸ばした方がいい点など、いろいろ出てくる課題があるかと思ひますので、その課題に対して適切な対処を学校で取っていただきたいなと思ひます。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。岡田委員いかがでしょうか。

岡田委員： はい。公表しないことに関しては賛成です。

瀬瀬教育長： はい。

岡田委員： あとは、こういう学力調査の結果を授業改善策などに反映させることが目的とは書かれていますが、反映させられるぐらいの先生たちの時間的なやりくりが可能なのかということ。やはり担任が1人、あとサポートが入っていても30何人という子どもたちの学力に関することが、そこまで行き届くことができるかということからすると、公表しないで、もっと本来的にやる意味はというところが少し疑問には思ひます。

瀬瀬教育長： なるほど。実際にその結果を、先ほどの活用と同じですが、授業改善にきちんと生かされているかということですけど、どうですか。指導主事の立場で現場にいた頃、小学校、中学校それぞれでどうでしたか。

飯島指導主事： 小学校のことから言いますと、あくまでこの数値というものは数値として、きちんと受け止めてはいるところではあります。これの活用という、教材研究等の充実につながっているところはあります。例えば、今「読む力」を小学校では高めていく研究を続けておりますが、その辺りがどのように出てきているのかを客観的に捉えることで、調査を有効活用しています。それが先生方の「これまでやってきたこと」の自信につながっていくこと、子どもたちの「できた」につながっていくということがすごく重要だと考えておりますので、まさにこの結果などは校内研究で今やっていることにつなげていけることだと考えています。そういう意味で、活用をさらに進めていきたいと思っているところでございます。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。塩田指導主事は現場を離れて何年か経っていますけど、どうでしたか。

塩田学校建設： 中学校でも国語と数学。特に、ここの書く力はどの教科でも当てはまる部分もあるよねというところで、全教科の教員が共通認識を持って、書く力や粘り強くの所に課題意識を持ちながらやっています。また、計算をする基礎基本の積み上げについても、授業の中だけではなかなかカバーしきれないところ、学び直しの機会を教員たちでテスト前や長期休み期間などに作ることもつながった部分ではあります。それは今も継続されているというふうに聞いていますので、そういうところにつながっているのかなと考えています。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。高橋委員はいかがでしょうか。保護者の立場で。なかなか直結するところが、難しいところでもあるのですが、何かご感想でも結構なので。

高橋委員： 公表しないに関しては私も賛成意見です。この内容を活用していただければ、保護者としては嬉しくもあります。やはりこのデメリットの、町が小さいものですから、個人の特定をしやすいなど。こういうのは一度そういうふうな感じで言われてしまうと、その後6年間、3年間ずっと長いので、これは避けていただければと思います。以上です。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。どうしても小さな町で1校しかな

いので、それで校数が少ないので数字も本当に上下しやすいです
ので。瀧本委員いかがでしょうか。

瀧本委員： はい。毎年言っていますが、そもそも学力調査を真鶴はもうや
らない方向にしていくことも可能ではないかなと思っています。結果
を反映してというのは、もう本当によくやってくださっていると思
いますが、おそらく学力調査をやらなくても校内研修はやります。
学校の先生方は授業をより良くしようと思って取り組んでいます。
それをやりやすくするためには、先ほど岡田委員が言っていました
が、なかなか学校はこう忙しい時間があるって、そのうちの1つが学
力調査だとしたら、そのうちの1日前後に準備を入れるとなった時
には、もうそれを無くしてもいいのではないかというのが私の持論
です。暴論かもしれませんが、ぜひ検討してほしいなと思います。
以上です。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。本当にこういうことをしなくても
実際の学校現場は常に頭に入れながら、いろいろな教育活動をと
おして改善をして進めているということですね。他にご意見はよろし
いですか。それでは事務局から「公表しない」ということで提案が
されております。委員の皆さんで賛成の方は挙手をお願いし
たいと思います。

全委員： (全員挙手)

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。全員賛成とみなします。では本日
の協議事項はこの1点だけですが、事務局から他にございますか。
委員の皆さんから何かございますでしょうか。いいですか。
それでは報告事項に移りたいと思います。学校建設に関する報告
について、事務局からでよろしいですか。お願いします。

上甲学校建設： はい。本日、資料は用意してないのですが、前回の教育委員会8
担当課長 月定例会から9月定例会までに開催いたしました基本設計に伴いま
すワークショップについて報告をさせていただきます。まず学校教職員
とのワークショップでは、9月9日に中学校で19名。9月24日に
小学校で21名の参加により『各部屋の配置案等について』、意見交
換を行いました。特に、この場でも課題となっておりました職員室
の配置につきましては、「教室との距離が遠いです。」などといった

意見も多かったのですが、最終的には、グラウンドを見渡せて子どもたちの活動がやはり見渡せる。救急車両が横付けできる保健室の隣が良いなどの条件を考えると、やはりまだまだ解決すべき課題はありますが、概ね提案された位置が良いのではないかという意見が多かったです。また、これにつきましては他のワークショップも含めて意見を集約して、最終的な配置案を決めていきたいと思っております。次回、これらで出されました意見をまとめた資料を提出させていただきたいと思っております。

続きまして、冒頭で教育長からも説明がありました第1回、第2回『母校をつくろう』の報告及び第3回のお知らせでございます。前年度まで開催いたしました『教育を語り合う会 2025』と題しまして、今回、2回開催しております。第1回目は、8月30日午前9時30分から「設計案の紹介等」で85名の参加がありました。第2回目は昨日、9月28日日曜日午前9時30分から「学校×せとみちの可能性」を中心にワークショップと、希望者による「せとみちの現地散策」を行い、80名の参加がありました。今年度、計4回の開催を予定しております、出された意見をできるだけ基本設計に取り込んでいきたいと考えております。次回は、10月26日の日曜日午前9時30分から「地域に開かれた学校、地域とともにある学校」についてワークショップを行う予定でございます。教育委員の皆様におかれましても、ご参加いただければと思っております。報告は以上となります。

瀬瀬教育長：

はい。ありがとうございます。報告事項ですが、何かご質問があれば承りたいと思っております。いかがですか。結構、先生たちのワークショップはすごく盛り上がっていた印象ですが、事務局としてはどうですか。

上甲学校建設：
担当課長

非常に盛り上がっていて、「もっとやりたい。」「今度は小中合同でやりたい。」など、そういう意見もありましたので、次のステップに向けて開催を調整していきたいと思っております。

瀬瀬教育長：

本当にこれからは、校舎の配置もまだ正式には決まってないですが、部屋の配置については先生たちがやはり一番利用されるわけなので、その意見が本当に反映される設計作りを引き続きお願いしたいなと思っております。皆さんから何か要望でも結構ですので、何かあれば。よろしいですか。それでは第3回目が10月26日日曜日の午前

中にありますので、ぜひご参加いただければと思います。では、当初予定されていた報告事項は以上です。事務局から他にございますか。委員の皆さんから報告事項があればお願いしたいと思います。

瀧本委員： はい。

瀬瀬教育長： はい。どうぞ。

瀧本委員： 前回、町長に出しました公開質問状の件で1つ報告をさせてください。9月23日に町長ご自身のホームページで回答をいただきました。「26日まで」に対しての早い回答に対して、私たちとしては感謝をしたいと思っています。24日に、ちょうど委員が別件で集まった時に、回答への今後の対応ということで話をしました。また、前日の23日に町長主催の株主ミーティングが行われて、その内容も一部聞いていましたので話し合いをしました。それを受けて、回答あるいは株主ミーティングの中身を見て、回答についてはまだ私たちとしてはお聞きしたいことが残っているのではないかなと考えています。個人的には、私は新聞報道で知ったのですが、「4か月間教育長のいない空白期間ができる」という話を読んで、かなり不安を感じています。なので、その4か月間はどのような教育行政の進め方をすればいいのかという辺りは「どういうふうにお考えなのか。」ぜひ追加でお聞きしたいなと思っています。また、本当は町長に早い回答についてのお礼をということで伝えたのですが、今日は急遽不在だということだったので、お会いすることはできませんでした。今のところ次回の定例会、10月20日の時に町長室にお伺いして、お礼を言うということ、また、追加の質問に対する回答もいただきたいなと思っています。以上です。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。他の委員の皆さんは何か付け足しがありますか。よろしいですか。他に何か報告事項はございますか。よろしいですか。

それでは続いて、学校教育、社会教育のスケジュールへと進めていきたいと思いますので、事務局から説明をお願いいたします。

青木課長補佐： はい。まずは学校教育からお願いします。9月の事業計画をご覧ください。1日より幼小中それぞれ2学期が始まりました。本日、教育委員会定例会です。

裏面をご覧ください。10月の予定です。2日に小学校、3日に中学校、10日に幼稚園の新年度予算のヒアリングを実施します。7日に学校建設準備委員会。そして、翌日に部会を開催します。9日、町民センターを使って来年、小学校1年生に上がるお子様の就学時健康診断を実施します。16日に教育支援委員会。18日土曜日の午前中ですが、既に教育委員の皆さんにはご案内をさせていただきましたとおり、まなづる小学校で運動会があります。また、小学校からプログラム等の時間が届き次第、共有させていただきますので、お時間があればぜひ見ていただくと幸いです。20日、教育委員会定例会。24日金曜日には、中学校の学習活動発表会があります。後日、こちらも情報共有させていただきます。26日日曜日は、先ほどもお話がありました午前9時30分から12時まで町民センター講堂で『教育を語り合う会』を開催します。以上です。

瀬瀬教育長： はい。では社会教育、続いてお願いします。

大竹係長： はい。それでは社会教育・生涯学習関係です。9月をお願いいたします。1日には、神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会が総合教育センターで行われました。11月に行われます『関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会』で、当町社会教育委員がいろいろな活動の事例発表を行う予定で、そのプレ発表の場となりました。まだ詰めるところがありますが、詳細を詰めて本番に臨んでまいりたいと考えています。3日には自治会教育体育部会と生涯学習実践委員打合せ会を開催し、後期成人学級の内容について協議を行いました。4日には自治会教育体育部会と体育部長会を開催し、10月12日に開催予定の町民運動会の競技内容の確認と組合せ抽選会を行いました。7日には子育て学級を開催しました。内容としては、リトミックの体験教室で38名の方にご参加をいただいております。同日には、磯の生物観察会を内容とした海のミュージアムを開催し、21名の方にご参加いただいております。8日には博物館において、海の学校事業といたしまして新玉小学校を迎え入れ、51名の方に参加をいただいております。9日にも海の学校を実施いたしまして、平塚市立八幡小学校の方々を迎え入れております。こちらの参加人数については確認を漏らしております。大変申し訳ございません。10日には小中学生グローバル人材育成推進事業の事前説明会を行いました。8月に行いました小学校5年生の事業とは別に、今回は中学2年生を対象とした事業の説明会で、10組20名の方にご参

加いただいております。12日には鹿島踊り国重要文化財指定に向けての会議を行いました。これは神奈川県と静岡県の2県にまたがる指定ですが、まず神奈川県内の状況を確認する形で打合せを行わせていただきました。13日に記載はありませんが、敬老福祉大会が開催され、そこに真鶴土曜教室のメンバーが運営に携わらせていただきました。19日には放課後子どもいきいきクラブの2学期がスタートしております。同日には小中学生グローバル人材育成推進協議会を開催しております。22日には絵画コンクール審査会を行いました。本年度は103の作品が出品され、昨年度より微増の形でした。23日には磯の生物観察会を内容とした海のミュージアムを開催し、39名の方にご参加いただいております。25日には今年度2回目の文化財審議委員会を開催し、『文化財だより』の内容等について協議を行いました。27日には子どもおもしろ体験隊といたしまして、15名の児童が開成町へ出向き、5月に植えた稲を刈っています。備考欄には、休館となっております美術館が今年度開催する事業といたしまして、2日から『偉人・中川一政が制作したポスターと陶芸展』を町民センター展示コーナーで展示を行っております。

裏面をお願いいたします。10月です。1日には託児ボランティアの会が研修で厚木市の防災センターを訪問する予定でおります。2日には町民文化祭運営委員会を開催し、必要物品等の確認を行う予定でございます。5日にはグリーンエイド真鶴チャリティーコンサートを開催します。例年、晴れの場合はお林展望公園で開催していましたが、今年度は天候に関わらず町民センターで行うことを実行委員会で決定しております。周辺の皆様にはご迷惑をおかけするかも分かりませんが、どうぞよろしくをお願いいたします。9日には文化財審議委員が視察研修を行う予定でございます。12日には町民運動会を開催する予定でございます。今年度も昨年度に引き続き、午前みの半日日程で行う予定でございます。25日には小中学生グローバル人材育成推進事業の事前研修会で、中学2年生の参加生徒がICU（国際キリスト教大学）の外国人留学生の方々と交流をする予定でございます。28日から11月2日まで町民文化祭を開催する予定でございます。ご予約が合えば、ぜひ会場までお出でいただきたいと考えております。以上でございます。

瀬瀬教育長：

はい。ありがとうございます。社会教育は夏休みが明けても運動会や文化祭など、やはり忙しいですね。お疲れ様です。皆さんから何かご質問等ございますか。特によろしいですか。事務局から他

に報告事項はありますか。よろしいですか。

それではこれで全ての案件が終えましたので、これをもちまして9月教育委員会定例会を終わりといたします。どうもありがとうございました。

全委員： ありがとうございました。